令和4年度地域支援センター特別支援教育研修会実施要項

福島県立あぶくま支援学校

1 趣 旨

発達に課題を抱える児童生徒の特性や行動理解、支援の在り方について専門的な立場から具体例を交えて講演いただき、児童生徒の実態に応じた支援方法の知識を深める。また、本校で行われている教育活動の一部を紹介し、地域支援センターとして小中学校の教員に対し、障がいをもつ児童生徒への様々な支援方法についての情報を提供する。

2 主 催 福島県教育委員会並びに特別支援学校地域支援センター

3 期 日 令和4年8月1日（月） 9：30～15：00

4 会 場 福島県立あぶくま支援学校 郡山市中田町赤沼字杉並139番地

5 参加対象 幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員等

6 日程及び内容

時 間	内 容		
9：30	受 付		
10：00	講 演 会 ・演 題 「子どもの行動の見方・考え方 ～その相違（ズレ）を考える～」 ・講 師 新潟大学教育学部教授 有川 宏幸 氏 ・講演内容 発達障がいを抱える子どもの行動の捉え方や、事例から考える具体的な支援についてご講義いただく。		
12：00	昼食・休憩		
13：00	分 科 会 （申込時に選択） <table border="1"><tr><td>分科会① 講話 「本校の進路指導と卒業後の生活について」 ・高等部の生徒の進路決定までの流れや進路先の種類などの概要について説明する。 ・卒業生のその後について、具体的なケースを例に挙げ、卒業生本人や進路先の方から伺った話などを紹介する。</td><td>分科会② グループ協議 「子どもの行動の捉え方について」 ・申込時の回答を基に小グループに分かれ、話し合いや情報の共有をする。 ・グループにはファシリテーターとして本校職員も加わる。講師の有川氏にもアドバイザーとしてご助言いただく。</td></tr></table>	分科会① 講話 「本校の進路指導と卒業後の生活について」 ・高等部の生徒の進路決定までの流れや進路先の種類などの概要について説明する。 ・卒業生のその後について、具体的なケースを例に挙げ、卒業生本人や進路先の方から伺った話などを紹介する。	分科会② グループ協議 「子どもの行動の捉え方について」 ・申込時の回答を基に小グループに分かれ、話し合いや情報の共有をする。 ・グループにはファシリテーターとして本校職員も加わる。講師の有川氏にもアドバイザーとしてご助言いただく。
分科会① 講話 「本校の進路指導と卒業後の生活について」 ・高等部の生徒の進路決定までの流れや進路先の種類などの概要について説明する。 ・卒業生のその後について、具体的なケースを例に挙げ、卒業生本人や進路先の方から伺った話などを紹介する。	分科会② グループ協議 「子どもの行動の捉え方について」 ・申込時の回答を基に小グループに分かれ、話し合いや情報の共有をする。 ・グループにはファシリテーターとして本校職員も加わる。講師の有川氏にもアドバイザーとしてご助言いただく。		
15：00	研修会終了		

※研修会中、本校の校舎内で教材教具の展示と、作業学習の製品販売を行う。

7 持参物 健康チェックシート（事前にホームページよりダウンロード、受付時提出） 上履き 昼食

8 申し込み方法 ・本校ホームページの研修会申し込みフォームに直接必要事項を入力する。
URL <https://abukuma-sh.fcs.ed.jp>
・電話での申し込みも対応可。

9 その他

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用と手指の消毒を徹底する。
- ・昼食・休憩や分科会時は、複数の会場を設け、分散して行う。
- ・今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、日程・内容を変更することが想定される。その際はHP上での変更の案内、参加申込者への変更の連絡を行う。

（事務担当 教頭 金澤 広司 電話024-956-1910）